

わだち

vol.

521

2026.03

Fukushima Trucking
Association report
福島県トラック協会広報誌

WADACHI

4月6日(月)～4月15日(水)まで
春の全国交通安全運動です

交通ルールを守って交通事故死ゼロへ!
小さなやさしさが、大きな
“ゼロ”につながるよ



FUKUTORA TOPICS

- 2025年度
「安全性優良事業所認定証授与式(Gマーク)」を開催
- 女子トラと歴史のわだちでエトセトラ (いわきエリア)
- モデル わたひきあやこさんインタビュー

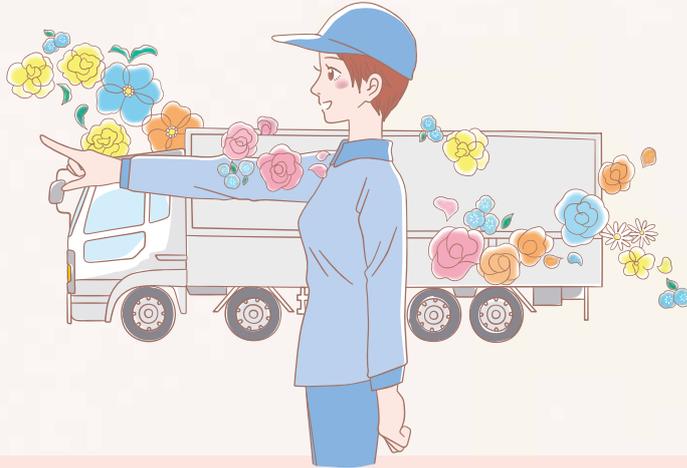
公益
社団
法人

福島県トラック協会

FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION



幸せ運びのプロフェッショナルです。



#女子トラ走る



笑顔も、希望も、やりがいも積んで。



福島県トラック協会
FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION

福島県トラック協会
オフィシャルYouTube公開中



Contents -目次-

県ト協NEWS

- 福島県警察高速道路交通警察隊から福島県トラック協会へ感謝状を授与 … 1
- 関係団体へ年頭のあいさつ … 1
- 交通遺児基金への寄付活動 … 1
- 2025年度「安全性優良事業所認定証授与式(Gマーク)」を開催 … 2
- 令和7年度「プラン2025目標達成セミナー～削減目標達成への取り組み～」を開催 … 3
- 令和7年度「適正原価管理の実現に向けた標準的運賃活用セミナー」を開催 … 3
- 引越講習会を開催 … 4
- 佐藤会長が福島民友新聞社および福島民報社の取材を受けました … 4
- 適正化日より … 4
- ダンプトラック部会が関係団体に要望活動 … 5
- ダンプトラック部会が関係団体に新年のあいさつ … 5

- 青年部会が令和7年度全体研修会を実施 … 5
- 女性部会が新年会を開催 … 5
- 支部だより … 6
- ふくトラ・インフォメーション … 8
- 会員だより … 8
- 今年度よりデンソーエアリービーズに協賛! … 9
- 「ゴジてれChu!」の人気コーナー「オチロのゴミ拾いの旅!」に参加 … 9
- A day in the life ~今活躍している女性たち~ … 10
- コラムわだち … 11
- 女子トラと歴史のわだちでエトセトラ … 12
- #女子トラ走る モデル わたひきあやこさんインタビュー … 14
- 女子トラ活躍中! / 東北交通共済 … 16
- 陸災防NEWS … 17
- 令和7年度「物流セミナー」を開催 / 編集後記

お知らせ

交通事故統計

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況は下記の通りとなります。交通規則を守ることは、社会人としての基本的な責務です。会員事業所におかれましても、プロドライバーとして、より一層の交通安全対策をお願いします。

第一当事者が県内居住の事業用貨物車の交通事故発生状況

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
2026年(概数)	発生件数	5	4											9
	死者数	0	0											0
	傷者数	5	4											9



よろしく
お願いします!

4つの
心得

交通ルールの遵守

思いやり運転等交通マナーアップ

速度の抑制

交差点での安全確認の励行

福島県警察高速道路交通警察隊から福島県トラック協会へ感謝状を授与

贈呈日 令和7年12月17日(水) 場所 福島市 福島研修センター

出席者 田母神専務理事、清野常務理事

福島県警察高速道路交通警察隊 半沢隊長から広報啓発活動や高速道路における交通事故防止に貢献をされたことに対し本協会へ感謝状が授与された。



関係団体へ年頭のあいさつ

実施日 令和8年1月6日(火) 参加者 佐藤 信成会長 他4名

訪問場所 福島労働局、福島運輸支局、福島県自動車会議所、商工中金福島支店、福島民友新聞社
福島民報社、福島県庁、福島県警察本部交通部 ※訪問順

本協会の佐藤信成会長は関係団体へ年頭のあいさつを行った。トラック運送業界における令和8年の課題として、第1「トラック適正化2法」への対応、第2「諸経費高騰に伴う事業者負担軽減の取組」、第3「交通事故並びに労働災害防止の取組」の3点をあげ、その説明を行なった。

特に第1の課題について、新聞・テレビ等のメディアを活用した県民への理解醸成、荷主団体への要望行動、国に対する制度改善要望等を継続実施していくとともに、会員事業者への情報提供を全日本トラック協会と連携して実施していきたいと述べ、トラック運送業界への支援及び協力を求めた。



福島県庁訪問の様子

交通遺児基金への寄付活動

実施日 令和8年2月5日(木) 場所 福島市 福島県庁

出席者 佐藤会長、田母神専務理事、清野常務理事

本協会は福島県交通遺児奨学基金協会（理事長 内堀雅雄知事）へ交通遺児の健全育成のために30万円を寄付した。

贈呈式では佐藤信成会長から宍戸陽介生活環境部長に目録が贈られた。これを受けて宍戸生活環境部長より感謝状が贈呈された。

今回で27回目。寄付金総額は560万円となった。



左から宍戸生活環境部長・佐藤会長・田母神専務理事・清野常務理事



2025年度「安全性優良事業所認定証授与式(Gマーク)」を開催

開催日 令和8年1月16日(金) **場所** 福島市 福島研修センター

参加者 福島県適正化事業実施機関 佐藤信成 実施本部長ほか認定事業所7社
 福島運送(株)伊達桑折インター営業所、(株)令孝社本社営業所
 (株)ロジコム本宮物流センター、(株)カネイチ運輸本社営業所
 (株)WORKERS本社営業所、(株)澤井商運本社営業所、(有)伸道商事運輸本宮営業所



代表授与者 福島運送(株)伊達桑折インター営業所 執行役員 運行管理部長 濱尾 晃次 氏

本年度認定事業所 155社 (新規28社、更新127社) **県内認定事業所数** 555社 ※本年度含む

佐藤信成実施本部長は、新規に認定を受け、かつ審査で高い評価を受けた事業所に全国適正化実施機関の認定証を手渡した。これを受け、福島運送(株)伊達桑折インター営業所 濱尾氏が代表者決意表明を行い、「Gマーク制度の重要性を再認識し、安心・安全な輸送第一に優良事業所として更なる資質向上を目指します」と宣言した。

今回、新たに認定を受けた営業所は下記のとおり。



認定証を授与される濱尾氏



佐藤信成本部長と参加事業所代表

2025年度 新規認定事業所 (28社)

福島運送(株) 伊達桑折インター営業所	大和システム運輸(株) 白河営業所
常磐郵便輸送(株) 本社営業所	名糖運輸(株) いわき営業所
(株)エフライン 本社営業所	(株)澤井商運 本社営業所
(株)小野寺商事 郡山営業所	船引運送(株) 本社営業所
フジトランスポート(株) いわき支店	(有)伸道商事運輸 本宮営業所
(有)誠光商事 本社営業所	(有)伸道商事運輸 南相馬営業所
(株)令孝社 本社営業所	三つ山運送(株) 本社営業所
丸泉興業(株) 郡山営業所	丸佐運送(有) 本社営業所
ヤマト運輸(株) 猪苗代営業所	(株)ジャス いわき営業所
(株)ロジコム 本宮物流センター	白河通運(株) 本社営業所
(株)カネイチ運輸 本社営業所	日本通運(株) 相馬海運支店 いわき営業課
(株)WORKERS 本社営業所	カメイ物流サービス(株) 白河営業所
千代田産業(有) 会津営業所	いわき陸運(株) 本社営業所
いわきエコ・パルプ(株) 本社営業所	双石運輸(有) 本社営業所

令和7年度「プラン2025目標達成セミナー～削減目標達成への取り組み～」を開催

開催日 令和7年12月15日(月) 場所 郡山市 県中研修センター 参加者 22名

講師 SOMPOリスクマネジメント株式会社 モビリティコンサルティング部 蒲生 めぐみ氏

全日本トラック協会では、「トラック事業における総合安全プラン2025」を策定し、令和7（2025）年度までの事故削減に係る全都道府県の共有目標値を「事業用トラックを第一当事者とする死者数・重傷者数の合計970人以下／飲酒運転ゼロ」と定め、様々な取り組みを行っている。

この一環として、本協会は最新の交通事故防止対策をテーマにしたセミナーを開催した。セミナー前半では、講師による最新の統計や取り組み事例を交えた講演が行われた。休憩をはさんだセミナー後半では参加者が6人程度のグループに分かれ、各事業所での追突事故・交差点事故防止への取り組み等について意見交換を行った。

また、NPO法人「いのちのミュージアム」の協力により、「生命のメッセージ展」も同時開催され、参加者が改めて命の尊さと交通安全への意識を深める機会となった。



令和7年度「適正原価管理の実現に向けた標準的運賃活用セミナー」を開催

開催日 令和8年1月19日(月) 場所 郡山市 県中研修センター 参加者 84名

講演内容 ●「標準的な運賃」の活用
●原価計算、原価管理の理解と活用 ～物価高、燃料高、人材不足を反映した運賃・料金の設計～
●効果的な運賃交渉について
●原価計算、運賃交渉におけるAI活用

講師 合同会社サプライチェーン・ロジスティクス研究所 代表 久保田 精一氏

物流の2024年問題等の、厳しい事業環境において、持続的な事業運営のために、自社原価と標準的運賃を照らし合わせた分析手法を学び、積込・取卸料、付帯作業、燃料サーチャージ等を適正に収受するための荷主へ対する提案力を養成することを目的に開催された。

セミナーは原価計算や独自の運賃表の作成の進め方、荷主等に対するの申入れ・交渉等の考え方といった内容で進められた。



引越講習会を開催

開催日 引越基本講習：令和8年2月17日(火)
引越管理者講習：令和8年2月18日(水)

場所 郡山市 県中研修センター

講師 全日本トラック協会 輸送事業部 調査役 小山 誠 氏

実際に発生したトラブル事例をもとに、引越業務における適正な対応について学んだ。また、契約時の説明不足による料金トラブル、荷物の破損や紛失に関するクレームなど、具体的なケースを挙げながら、未然に防ぐポイントや適切な対応方法を講師が詳しく解説した。



佐藤会長が福島民友新聞社および福島民報社の取材を受けました



取材記事が掲載された新聞紙面

テーマは、トラック適正化2法の成立とその段階的施行、運送業界が抱える課題、そして今後の展望についてです。記事は3月3日付朝刊に全面を使って掲載されました。

本協会では、新聞をはじめ様々な媒体を活用しながら、物流の重要性や業界の現状を発信してきました。今後も県民の皆さまに広く情報を届け、ドライバーの待遇改善と質の高い輸送サービスの確保につなげてまいります。



「運輸安全マネジメント」の活用について

皆さんの営業所内には運輸安全マネジメントに関する取り組みが公表（掲示）されていると思いますが、巡回指導でこの制度の活用には事業者の温度差が大きいと感じています。

この制度は「P計画・D行動・C評価・A改善」を事業者自らが行うことで、経営トップから現場まで安全意識の浸透を図る目的として平成18年10月から導入されているものです。

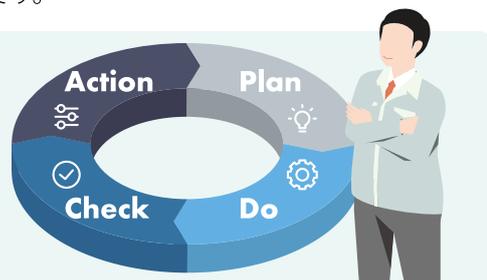
ある経営トップとこの制度についての実際のやりとり

- 事業者** 「事故を起こすなと常々言っている」
- 指導員** 「それは、どういう事故を想定してどのような指導・対策をしているのですか？」
- 事業者** 「特に想定していないが、事故全般という意味」
- 指導員** 「では、事業者が自ら減らしたい事故を具体的に提示してみましょう！」

その事業者は重大事故がなく物損事故が多いので

- 指導員** 「御社の物損事故の割合が多いのはどのような事故ですか？」
- 事業者** 「バックした時に車両や建物に接触する事故が多い」
- 指導員** 「では、バックする時には必ず下車して確認するルール化。予算が許せばバックアイカメラを装着する等をマネジメントしてはいかがでしょうか？」

数年後の巡回指導で、その事業者の物損事故は減少し保険料も大幅に下がったとのこと。 適正化事業部 小野



Point!
この制度は「P・D・C・Aサイクル」をすべて事業者自ら行うことが前提なので、経営トップが思っている自社の「弱点」を見つけて底上げを図ることをお奨めします！





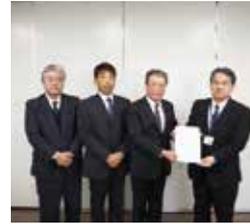
ダンプトラック部会が関係団体に要望活動

開催日 令和7年12月3日(水) 12月11日(木)

参加者 松尾活秀部会長、小林一義副部会長、田母神正広専務理事

訪問先 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所
福島県土木部技術管理課 (一社)福島県建設業協会

ダンプトラック部会(松尾活秀部会長)は要望活動を実施した。働き方改革の進展や燃料費・人件費の高騰により、事業環境は厳しさを増している。こうした状況を踏まえ、地域インフラを支える安定した輸送体制の確保と事業の健全な発展を目的に、関係機関へ現状を説明したうえで支援の必要性を訴えた。



国土交通省東北地方整備局
福島河川国道事務所



福島県 土木部 技術管理課

ダンプトラック部会が関係団体に新年のあいさつ

開催日 令和8年1月21日(水) **参加者** 松尾活秀部会長、小林一義副部会長、田母神正広専務理事

訪問先 国土交通省東北地方整備局福島河川国道事務所、
環境省福島地方環境事務所輸送課、福島県土木部技術管理課、
福島県生活環境部中間貯蔵・除染対策課、
(一社)福島県建設業協会、(一社)福島県産業資源循環協会

ダンプトラック部会では新年のあいさつを行った。近年の災害が増加する現状を踏まえ、ダンプトラックの機動力や積載能力といった特性を生かして災害発生時には協力したい考えを示した。そのうえで、公共工事等における営業用ダンプトラックの優先利用をお願いした。



(一社)福島県産業資源循環協

青年部会が令和7年度全体研修会を実施

開催日 令和7年12月19日(金)

場所 神奈川県 いすゞプラザ・神奈川県 いすゞ藤沢工場

参加者 15名(青年部会11名、いすゞ自動車4名)

青年部会(渡部誠部会長)は令和7年度全体研修会でいすゞプラザといすゞ藤沢工場の視察研修を実施した。

いすゞ藤沢工場では、中型・大型車の組立ラインも特別に見ることができた。ラインは同じ設備でありながら車両の大きさに応じて調整され、一定の間隔で動く動線の中で部品が順次組み込まれていく過程を迫力をもって観察することができた。



女性部会が新年会を開催

開催日 令和8年2月10日(火) **場所** いわき市 いわきワシントンホテル

参加者 20名

女性部会(西山由美子部会長)は、いわき市で新年会を開催した。会の中盤では、昨年の活動報告をプロジェクターで紹介し、初めて参加した人にも分かりやすい内容となった。

参加者からは「映像で見ると活動の様子がよく分かった」との感想も寄せられた。会の後半は、食事を楽しみながら会員同士が交流し、笑顔あふれる時間となった。なお、新年会は、今まで参加できなかった人にも足を運びやすくしてもらおうよう、開催会場を毎年変える予定です。

女性部会では、活動を一緒に楽しむ仲間を募集中です。興味のある方は気軽に事務局までご連絡下さい。



支部だより

各支部の活動をお知らせ



各支部が令和8年「新年行事」を開催

新年を迎え各支部で新年行事が行われた。詳細については下記の通り。

支部名	日時	行事	場所	参加者数
県中	令和8年1月9日(金)	安全祈願祭・賀詞交換会	郡山市 郡山ビューホテルアネックス	63名
県南	令和8年2月6日(金)	安全祈願祭・新年会	石川郡 母畑温泉 八幡屋	50名
会津	令和8年1月17日(土)	第14回安全大会、交通事故防止講習会、 優良管理者・優良従業員表彰式	会津若松市 ルネッサンス中の島	51名
相双	令和8年1月30日(金)	安全祈願祭・新年賀詞交歓会	安全祈願祭：南相馬市 相馬太田神社 新年賀詞交歓会：プライダル&ホテルラフィーナ	安全祈願祭 19名 新年賀詞交歓会 24名
いわき	令和8年1月23日(金)	新春セミナー・交通事故防止講習会	いわき市 パレス いわや	70名



県中支部



県南支部



会津支部



相双支部



いわき支部

県北支部

年末年始の交通安全事故防止市民総ぐるみ運動出動式に参加

開催日 令和7年12月10日(水)

場所 福島市 イオン福島

参加者 蓬田 隆信 支部長 県北支部女性部会3名

県北支部（蓬田隆信支部長）は、年末年始の交通安全事故防止市民総ぐるみ運動出動式に参加した。終了後は、交通事故防止を呼びかける啓発品を配布して、交通ルールの遵守と正しい交通マナーについて声かけを行った。



県中支部

交通遺児に対する激励金の贈呈

実施日 令和8年1月15日(休) 場所 郡山市 郡山市役所

県中支部(小野田弘明支部長)は、交通遺児に対する激励金を郡山市へ贈呈した。1982年から続く取り組みで今回が44回目となる。小野田支部長は「子どもたちの支援に役立ててほしい」と話した。



郡山地区交通安全協会へ交通安全活動基金の贈呈

実施日 令和8年1月30日(金) 場所 郡山市 郡山警察署

県中支部は、交通安全活動基金を贈呈した。1982年から続く取り組みで今回が44回目となる。

小野田支部長は「交通安全活動のために有効に活用していただきたい」と話した。



郡山北地区交通安全協会へ交通安全活動基金へ贈呈 (公社)ふくしま被害者支援センターへ被害者支援活動基金へ贈呈

実施日 令和8年1月30日(金) 場所 郡山市 郡山警察署

県中支部は、活動基金を贈呈した。

郡山北地区は2002年から継続し今回で24回目、ふくしま被害者支援センターは2017年からで10回目となる。

小野田支部長は「交通安全活動のために有効に活用していただきたい」と話した。



県南支部

安全パトロールを実施

県南支部(橋本一美支部長)が「令和7年度年末年始労働災害防止強調運動」の一環として安全パトロールを実施した。

開催日 令和7年12月4日(木) 対象事業者数 7社

場所 須賀川地区会員事業所

巡回指導者 橋本 一美 県南支部長
古川 圭一 県南副支部長
須賀川労働基準監督署 齋藤 敏彦 署長

開催日 令和7年12月11日(木) 対象事業者数 8社

場所 白河地区会員事業所

巡回指導者 橋本 一美 県南支部長
中村 須美子 南支部安全衛生委員長
白河労働基準監督署 森合 吉徳 署長



相双支部

令和7年度安全大会・交通事故防止講習会を開催

開催日 令和7年12月13日(土) 参加者 35名

場所 南相馬市 ブライダル&ホテル ラフィーナ

講演

演題 交通事故防止に向けた取り組みについて

講師 福島県警察高速道路交通警察隊 南相馬分駐隊長 伊藤 雅彦 氏

相双支部(遠藤秀弥支部長)は、安全大会・交通事故防止講習会を開催した。講習会では、講師が身体機能の変化や反応の遅れが事故につながる具体的な事例を挙げ、日頃からの自己認識と早期対応の重要性を講じた。



ふくトラ・インフォメーション



令和8年度助成事業について

本協会では助成事業について審議を行う「交付金委員会」において、令和8年度に向けた助成事業の見直しを行いました。委員会では会員が幅広く利用できる助成事業制度の在り方について協議した結果、次のとおり決定しましたのでお知らせいたします。

① 令和7年度をもって廃止となる助成事業

ポスト新長期等規制適合車導入助成事業

② 令和8年度から変更となる助成事業

セーフティネット保証等融資にかかる利子に対する助成事業

※セーフティネット保証等融資助成事業の詳細はQRコードからご確認ください▶



③ 令和8年度から新設される助成事業

熱中症予防対策支援助成事業

※熱中症防止予防対策支援助成事業の詳細はQRコードからご確認ください▶



協会セーフティチャレンジの当選者発表について

令和7年度「協会セーフティチャレンジ(副賞贈呈・交通事故防止コンクール事業所表彰)」へのご参加ありがとうございました。福島研修センターにおいて抽選を行い、当選チームが決定しましたのでご案内いたします。当選チームについては右記QRコードからご確認ください。



自動点呼&物流 DX 展示会開催について

開催日時 令和8年4月24日(金) 10:00～16:00 **会場** 県中研修センター2F 大研修室・駐車場

自動点呼機器、デジタコ、ドライブレコーダー、動態管理システムなどの最新機器展示のほか、デモトラックの展示も行います。予約不要、入退場自由としておりますので、ぜひご来場ください。また、プリヂェストンタイヤソリューションジャパン(株)による講習会も併せて開催(要予約)します。なお、詳細については、3月下旬に協会ホームページ及びFAXにてご案内いたします。



会員事業所の最新情報



新規入会事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県北	(株)吉舟	舟山 直亨	960-0684	伊達市保原町上保原字上ノ原 63-1	5
	(株)FA line	内藤 哲太郎	969-1403	二本松市波川字舟山 136-2	7
県南	(有)宝人	鈴木 信広	962-0315	須賀川市畑田字みどりが丘 1-17	10

新賛助会員事業所

支部	店・社名	代表者名	郵便番号	住所	車両台数
県中	(有)大共運輸 田村営業所	藤井 光聖	963-7719	田村郡三春町大字貝山字岩田 315	7



今年度よりデンソーエアリービーズに協賛!



本協会は新たに福島デンソーエアリービーズと協賛契約を結びました。これまで協賛してきた福島レッドホープス、福島ファイヤーボンズ、福島ユナイテッドFC、いわきFCに続く5チーム目のプロスポーツへの協賛となります。

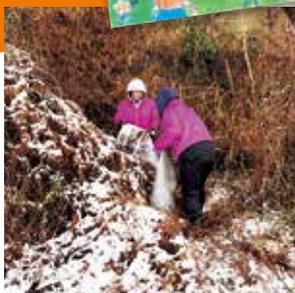
エアリービーズは、女子バレーボール国内最高峰のSVリーグに所属する、日本を代表する実力と歴史を誇る女子スポーツチームで郡山市を拠点としています。社会貢献活動にも力を入れているチームで、子どもたちや福祉団体の方たちを公式戦へ招待しバレーボール観戦を通じて夢と感動を届ける「ドリームシート」という取り組みを行っており、当協会は「ドリームシートパートナー」として、その取り組みを応援していくこととなります。



ブース出展の様子

エアリービーズへの協賛開始に伴い、早速、当協会は2月7日に郡山市の宝来屋ボンズアリーナで行われた公式戦において、ふくトラくんと広報ブースの出展による広報活動を実施しました。広報ブースでは、ふくトラくんグッズのプレゼントや「女子トラ走る」の動画再生などを行い、多くの家族連れやファンの方々にトラック運送業界をPRすることができました。さらに、来年度の「トラックの日」キャンペーン事業として、エアリービーズへの協賛マッチを計画しています。例年同様、「トラックの日」キャンペーン事業＝協賛マッチにおいては様々な企画で試合を盛り上げていく予定ですので皆さま期待してお待ちください。

本協会は、これからもスポーツを通じて地域の活性化を図りながら、社会貢献活動の充実とトラック運送業界の魅力発信の強化を図ってまいります。



福島中央テレビの情報番組「ゴジてれChu!」の人気コーナー「オチ口のゴミ拾いの旅!」の収録が3月4日(水)行われ、協会相双支部から女性部会員9名と青年部会員3名が参加しました。

当日はあいにくの雨でしたが、参加者らはオチロさんとともに南相馬市鹿島区を通る国道6号線沿いで清掃活動を約1.1kmにわたり実施。道路脇に落ちていたペットボトルやたばこの吸い殻、生活ごみなどを、一つ一つ丁寧に拾い集めました。この模様は4月13日(月)に放送予定です。参加者からは「地域のために少しでも役に立てうれしい」との声が聞かれました。

本協会では、今回のような地域清掃や交流活動を今後も継続していく方針です。

A day in the life

今 活躍している女性たち

vol.07

県内の運送業界で活躍している女性の魅力をご紹介します

株式会社令孝社
榎本 久美さん

経理を一人で担当している頼もしい存在

今回ご紹介するのは、郡山市にある(株)令孝社の榎本久美さんです。

榎本さんの会社では、主に大手ハウスメーカーの建材を運んでいます。榎本さんは経理を一人で担当し、会社を支える頼もしい存在です。「細かいミスが多いんですよ」と笑いながら話す榎本さんですが、実はとても丁寧な性格で、振込処理などの大切な業務では何度もチェックを欠かしません。お昼は、だいたい手作りのお弁当を持参していますが、会社近くにある「家族絆亭十々」のミソカツ定食もお気に入り。出前もできるお店なので、ドライバーさんたちにも人気です。

動物が好きで、お休みの日はかわいい動物の動画を観るのが癒しの時間とのこと。

二本松市にある実家には愛犬ムクくんがいますが、いつかはゴールデン・レトリバーとハチワレ猫を飼ってみたいというのが夢だそうです。

毎日数字と向き合いながらも、いつも笑顔を絶やさず、どんなときも周りを明るくする榎本さんは、お客さんやドライバーさんとも気さくにおしゃべりを楽しむ社内のムードメーカーです。今回会社訪問させていただいて、笑い声の絶えない明るく優しい彼女の存在が、自然と人が集まる、会社のあたたかさを作り出しているんだなぁということを感じました。(矢吹)

お仕事中



ドライバーさんとのコミュニケーションも笑い声が絶えません

郡司さん
事務処理も何でもござれ
ドライバーさんです

社内ミーティング中



去年は新車2台購入しました

休日



夫婦の時間

くじ引きが当たって、八幡屋で旦那様と久しぶりの休息をしました。



「家族絆亭十々」の
ミソカツ定食

やわらかお肉に、甘めの特製ダレがたっぷり！
そしてボリューム満点です。

美味しい！
最高！



家事の合間に
コーヒータイム

可愛いマグカップで
コーヒータイム。
この時間が大切です。

実家の愛犬
ムクくん

撫でられるのが大好きな
甘えん坊です。
マフラーは、榎本さんの
お子さんの手作り。

動物大好き！



榎本さんより

会社を設立してから、今年で8年を迎えることができました。たくさんの方々を支えていただきながら、ここまで来られたことに感謝しています。まだまだ学ぶことも多い毎日ですが、従業員の皆さんが笑顔で働けるような環境づくりを大切にしていきたいと思っています。これからどうぞよろしく願いいたします。

株式会社令孝社 榎本 久美

今回ご紹介出来なかった内容は、トラック協会ホームページに掲載しますので、ぜひご覧ください。

遠回りしたからこそ考えられたこと…

株式会社吉田運輸 代表取締役社長 吉田 耕嗣

私は運送業一筋で歩んできた人間ではありません。若い頃は製薬会社に勤め営業の仕事をしていました。

毎月の数字に追われ、どうすれば売り上げを伸ばせるか、そればかりを考える日々でした。朝早く家を出て、帰宅する頃には家族はもう寝ている。そんな生活が当たり前で長時間働くことに疑問を持つこともありませんでした。

「結果を出すためには当たり前！」とと思っていましたので、体調が多少悪くても少し無理をすれば何とかかなる…そうやって働くことが仕事なのだと思っていました。

そんな私が、二〇一一年の夏に実家の家業である運送業を継ぐために戻ってきました。後継者としての決断でしたが現場でハンドルを握った経験はありません。正直なところ不安もありましたしドライバーの経験がないことに引け目を感じたこともありました。

戻ってきて当面していた仕事は、事故やトラブルの対応、そして荷主の方々への訪問でした。現場に出るといよりも、起きてしまった出来事の後始末に追われる毎日だったように思います。

さて、そのように慌ただしく過ごす日々でしたが、ドライバー達から聞く事故やトラブルの話や、次第に気になることが出てきました。「寝不足が続いていた」「体調が万全ではなかった」「疲れが抜けないまま仕事をしていた」。どれも特別な話ではありませんが、事故やトラブルはそうした状態が重なった結果ではないかと感じるようになりました。

運送業も長時間働くことが当たり前になりやすい仕事です。ただ、前職の営業時代と大きく違うのは、その先にある結果だと思っています。疲れや眠気は単なる効率の問題では済みません。判断の遅れや集中力の低下は、そのまま事故やケガにつながります。そこには常に人の命が関わっています。

製薬会社に勤めていた頃に学んだ医療や健康に関する知識が、ここで思いがけず役に立ちました。睡眠不足が体や判断力にどのような影響を与えるのか、無理を重ねた先に何が起きるのか。知識として知っていたことが現場で起きていた現実と結びついた瞬間でした。

それ以来、「長時間働いてナンボ」という考えから少しづつ距離を置くようになりました。安全であること、安心して働けること、そして健康でいられること。そのどれもが欠けても仕事は長く続けられません。これは理想論ではなく運送業（運転手）を続けていくための前提条件だと感じています。

ドライバー経験がない分、現場の状況には目を向けるようにしています。異業種を経験してきたからこそ「昔からこうだった」という言葉を一度立ち止まって考えることもできます。遠回りだったかもしれませんが、その遠回りが今の自分の判断を支えているのだと思います。

もし、数字に追われていた頃の自分に声をかけられるなら、こう伝えたい。「やみくもに頑張ることも大切だけど、続けられることはもつと大切だ！」と。運送も人も、無理をし続けられどどこかにひずみが出ます。そうならないように私は、荷物だけでなく人と会社を支えるつもりで経営のハンドルを握っているように思います。



CHECK

広報誌わだち

コラム応募に関するお知らせ

会員事業者や従業員等の皆様がご自身の経験や知見を自由に発表していただくために、コラムの投稿を広く募集しています。皆様のとおきのネタを業界仲間と共有してみませんか。



テーマの例について

失敗談やエピソード、業界のあるあるネタ、みんなの共感を呼ぶユニークな提言、趣味や興味ある分野についての紹介等、幅広い話題の記事を歓迎しております。



詳細等についてはホームページにてご確認ください。質問や疑問がございましたら担当までお気軽にお問い合わせください。

担当 業務部 佐藤 sato_k@fukutora.jp

「歴史のわだち・女子トラおすすめ・トラがつくものエトセトラ」を巡る旅の五回目は浜通りのいわき市にやってきました。このシリーズは県南方の白河の関からスタートしましたので、いわき市でも、「歴史のわだち」一か所目として勿来の関から旅を始めたいと思います。

1 勿来の関(勿来地区)

女子トラと
歴史のわだちで
エトセトラ

#5

いわきエリアをめぐる



勿来の関は、白河の関・念珠関(山形県鶴岡市)と共に奥州三関の一つに数えられ、昔から人流・物流の要の地となっていました。古代から歌枕としても知られ、源義家の和歌「吹く風を なこそその関とおもへども 道もせに散る山桜かな」が特に有名です。

我々が訪れたのは2月上旬でしたが、さすが「いわき」。頭上は抜けるような青空、眼前には穏やかな海が広がる暖かく気持ちの良い日でした。勿来の関とされる場所は公園として整備され、入口には「奥州勿来関跡」の石碑と立派な源義家の銅像が建ち、遊歩道には歌碑が立ち並んでいます。また、いわき市勿来関文学歴史館では、この地に関わる和歌や江戸時代の庶民の生活について学べます。

2 湯長谷藩(湯本地区)

江戸時代、いわき市にあった湯長谷藩を舞台とした映画『超高速!参勤交代』ご存じですか? 徳川吉宗治世下、湯長谷の金山を我が物にしようとする老中の差し金により、1万5千石の小藩である湯長谷藩は、幕府から「(江戸から帰国したばかりなのに)5日以内に再び参勤交代せよ」という難題を押し付けられます。5日以内という期限に加えて参勤交代には莫大な費用が必要とあって、困窮した湯長谷藩には到底無理な話…それでも、佐々木蔵ノ介演じる藩主・内藤政醇(まさあつ)は、家老に命じ、何とか参勤交代を果たせる作戦を立てます。しかし、幕府の老中も刺客を雇い湯長谷藩の参勤交代を阻止しようとする。果たして湯長谷藩は、無事に参勤交代を果たし、家臣と領民を守ることができるのかという内容です。

現代であればトラックなどを使って簡単に輸送・移動できたであろうに…という思いを抱きながら、歴史のわだち2か所目として湯長谷藩ゆかりの「湯長谷藩九十九折街道」を訪れました。ここには今も歴史を感じさせる大きな屋敷の塀や土蔵があり、近くの中学校には「湯長谷藩館址」の石碑もあります。この地に門を構える太平櫻酒造は、映画の主人公内藤政醇の命を受けお酒を造り始めたとのこと。直接購入もできると聞き、早速「純米原酒 夢の香 太平櫻」を買って求めました。その際、社長から「中も見えますか?」と嬉しいお誘いをいただき、仕込み中の醪(もろみ)が眠るタンクを見学させていただくことに。その日泊まった旅館の夕食で、地元で採れた新鮮な魚と一緒に飲む太平櫻のそれは美味しいこと…至福とはこのことです。



参勤交代に思いを馳せて
湯本地区をめぐる



3 金山水天神社(平地区)

トラがつくものエトセトラ1か所目は、平の金山水天神社です。境内には、江戸前期に活躍した刀工「根本和泉守藤原國虎」の鍛錬所祈願之碑があります。石山卓著『刀匠 根本和泉守藤原國虎の生涯』などによると、この國虎という人物は19歳で京へ上り伊賀守金道のもとで修行、26歳で帰国。翌年藩主より「虎」の字を、朝廷より菊紋と口宣案(くぜんあん:天皇の勅命を文書にしたもの)を賜り「國虎・根本和泉守」を名乗りました。いわき出身の刀工で「守」を冠するのは後にも先にも國虎ただ一人とのことです。



④ 常磐炭田跡 (湯本・内郷地区)

いわきの歴史を語るうえで、明治以降の日本の近代化を支えた常磐炭田をはずす訳にはいきません。富岡町から茨城県の日立市北部まで広がる常磐炭田は、片寄平蔵が安政年間はこの地に石炭を発見して以来発展を続け、最盛期には全国の総炭産量の約1割に当たる370万トンを生産しました。しかし1960年代以降、石油へのエネルギー転換に伴い閉山が相次ぎ、1976年の常磐炭鉱西部鉱業所の閉山で炭鉱の歴史は120年の幕を閉じます。斜陽化する炭鉱に代わり1966年に開業した「常磐ハワイアンセンター(現スパリゾートハワイアンズ)」は年間150万人を集客する一大観光産業に発展します。この産業転換の過程は、映画『フラガール』で描かれているところです。ということで、歴史のわだち3か所目は「いわきヘリテージ・ツーリズム協議会」の菅野昭夫さんの案内で「みろく沢炭鉱資料館」と「常磐炭鉱内郷中央選炭工場跡」を訪れました。「みろく沢炭鉱資料館」は先代の館長が個人で収集した資料を展示している施設です。我々は現館長の渡辺秀峰さんから、珍しい資料の説明のほか、カンテラに灯を点す様子などを見せていただいたりしました。

次に訪れた「選炭工場跡」は私有地となっており協議会の案内がないと勝手に立入できない場所ですが、逆円すい型の巨大なコンクリート構造物や大正時代に建築されたレンガ造りの構造物は、貴重な産業遺産として一見の価値があります。



(左から)いわきヘリテージ・ツーリズム協議会の菅野さん、みろく沢炭鉱資料館の渡辺館長



日本の近代化を支えた
常磐炭田

女子トラ おすすめ♪

今回は、いわき市の三つ山運送(株)でドライバーを務める五十嵐恵さんのご案内です。会津の三島町生まれの彼女ですが、とあるきっかけでいわき市に居住することになり、小学生の頃からダンプを運転する女性ドライバーに憧れていた稀有な(!?) 感性の持ち主である五十嵐さんにおすすめの場所を案内していただきました!



今回の女子トラ 三つ山運送(株) 五十嵐 恵さん

会津からいわきへ移り住み、幼い頃からの夢だったトラックドライバーになれました。ハンドルを握るたび「夢が叶ったんだな」と実感しています。食べるのが大好きな私にとって、いわきは美味しいものに溢れる魅力的な街です。今回は、ドライバーが休憩で利用する少しマニアックな食堂も案内されました。普段何気なく立ち寄り場所ですが、協会の方々と取材でき、改めて「働く場所の魅力」を感じる一日になりました。これからも大好きな小名浜を走りながら、安全第一で頑張ります!

⑤ メヒコ いわきマリンタワー店 (小名浜地区)

お店は三崎公園のマリンタワーのすぐ近く。福島県民にとって、いわき市の食事処といえば「メヒコ」ですね。五十嵐さんも幼少期、家族でいわきを訪れる際はメヒコでの食事が定番だったそう。そしてメヒコといえばカニ!

ランチメニューの「カニピラフ」をいただきました。窓から太平洋を一望できるロケーションも最高です。余談ですが、近くにある展望台「潮見台」について彼女に聞くと、「先端まで行ったことありますよ～」と軽快な返事が。ちなみに高所恐怖症の方は要注意(筆者は先端まで迫り着けませんでした)。



⑥ かもめ食堂 & いなか弁当 (小名浜地区)

女子トラおすすめのラストは「業界・地元の人ならではの」スポットを紹介します。まずは「かもめ食堂」。7号ふ頭の港湾労働福祉センターに併設された食堂です。看板もなく昼のみの営業で、まさに知る人ぞ知る食堂です。

次は「いなか弁当」。住宅街に佇むお弁当屋さんです。メニューが豊富でイートインも可能。両店とも手頃な価格で美味しい!とのこと……これは行くっきゃない!!



⑦ 道の駅いわき・ら・ら・ミュウ (小名浜地区)

「いわき・ら・ら・ミュウ」は、小名浜にある観光物産施設で、昨年、道の駅にも登録されました。鮮魚店や飲食店、土産店が立ち並び目移りしてしまいます。海鮮丼を扱う店が多く、壁一面に山盛りのどんぶり写真が貼り出された光景は圧巻です。さて、数ある店の中から五十嵐さんがお勧めするのは「ハンバーガーれたす」。注文を受けてから一品ずつ手作りされるため、出来立ての美味しいハンバーガーが頂けます。



⑧ 麺や壱虎 (小名浜地区)

トラがつくものエトセトラ2か所目は、小名浜にあるラーメン店「麺や壱虎」です。住宅街の中にあり、ちょっと分かりづらい場所ですが、開店前にもかかわらず、我々が到着した時には既に数台の開店待ちの車が待機しており、その人気ぶりがうかがえます。魅力的なメニューに目移りしましたが、我々はいわきブラックラーメンとしおラーメンを注文しました。麺は細麺、スープはあっさりした風味の中に旨味をしっかりと感じられる美味しいラーメンでした。



いわき市は、温暖な気候と青い海に恵まれた、自然と産業が共存する街です。アクアマリンふくしまやハワイアンズ、湯本温泉と、県内外から多くの方が訪れます。小名浜港に揚がるカツオやサンマ、メヒカリなどの新鮮な魚も大きな魅力です。また、常磐炭田の歴史を持ち、現在も港湾エリアを中心に発電所や化学・製造業の工場が立地する工業都市です。製品や水産物、生活物資を運ぶ物流は、街の経済と暮らしを支える重要な役割を担っています。私たちいわき支部は、安全第一で、観光と産業の両面から「いわきの元気」を運び続けます。



いわき支部
松尾 支部長



#女子トラ走る

モデル

わたひき
Ayako あやこさん
Watahiki
インタビュー



本協会が二〇二二年より展開してきた「#女子トラ走る」キャンペーン。そのモデルとして出演していたらいいの、わたひきあやこさんです。本特集では、撮影の裏側や運送業界への想い、福島での思い出をインタビュー形式でおくりたいと思います。

Q1

「#女子トラ走る」キャンペーンモデルの話を聞いたとき、最初に浮かんだ気持ちは何でしたか？

「え、私でいいの!？」というのが正直な気持ちでした。

初年度にディレクションしてくれていたのが下北沢で出会った友人で、その友人から「わたちゃん（私のあだ名です）のイメージぴったりで…」と電話をいただき、私からしっかり母親像が出ているんだ！と嬉しくなりました。

また、企業の広告ではなく、福島県を背負う協会さんの案件ということで、かなり身が引き締まる思いでした。

Q2

実際に撮影が始まってから、トラックドライバー、トラック運送業界などについて「思っていたイメージと違った」と感じたことはありましたか？

まず、トラックといえば「トラック野郎」のイメージが強いと思うのですが、もれなく私もそう思っていました。

運転席の背面に、男性ならYAZAWA、女性なら豹柄でAYUのロゴなんかをあしらったトラックが多いのかな？なんて思っていたのですが、まったく違い、車内も（社内も!）清潔で綺麗で、大変驚きました。そして何より、協会の佐藤さんと初めてお会いした時、にじみ出ている柔和で落ち着いた雰囲気に、一瞬にして「わあ、協会さんの雰囲気良いー！楽しく仕事できそう!」と安心しました。全てにおいて、今回トラック協会さんと関わる中で、私自身も色々とアップデートしたなと感じます。

Q3

特に印象に残っているロケ地や出来事がありますか？また、撮影の合間に会った福島の食べ物や風景で、心に残っているものがあれば教えてください。

全てのロケ地を鮮明に覚えています、やはり「**南相馬市 北泉海岸ver**」です。海岸付近は綺麗に整備されているとはいえ、そこへ向かう車内から見える景色、まだ震災の跡が生々しく、言葉を失い、胸が痛くなったのを覚えています。そして、YouTube動画を見た見知らぬ海外の方から「この海はどこですか？来月日本に旅行に行くので、行ってみたいです」といったようなDMが来たことも覚えています。また、出会った食べ物ですが、なんと言っても「**福島市 果樹園ver**」でロケ地となったすずき果樹園さんの桃!!!!!!採ってから日数の経っていない硬い桃を人生で初めて食べたのですが、こんなに美味しいのーっ!!!!!!と大袈裟なくらい驚愕しました。

福島の方々はこの美味しい桃を毎年食べられるなんて、心から羨ましいです。 これを書いている今も思い出して、無性に食べたくなってしまいました…!



enjoy raising children

Q4 ご出産を控え、少し活動をお休みされる予定とのことですが、今感じていること、これから大切にしたい時間について教えてください。

私は会社員ではなくフリーランスで活動をしているので、産前産後の育休手当はありません。ですので、産後の産褥期くらいはゆっくりお休みさせていただき、その後結構早い段階で復帰予定です。シビアかと思われそうですが、仕事も大好きなので、自治体の子育て系の助成をふんだんに使わせてもらいながら、**うまく仕事と子育てを両立していきたい**と思っています。また、妊娠中は娘を抱っこしたり、公園で思いっきり遊んだりが出来ず、我慢させてしまった事が沢山あるので、「お母ちゃんやめてよー！」と言われるまで、存分に抱っこしたいなと思っています！余談ですが、春頃に、スパリゾートハワイアンズに行こうと思っていたのが妊娠で延期になってしまったので、第2子のトイレトレーニング完了次第必ず行きます！笑

Q5 わたひきさん自身について教えてください。(モデルとして普段はどのような生活や仕事をされていますか、また仕事と日常を両立するうえで大切にしていることはありますか、なぜモデルを目指すようになったのですか、好きな食べ物や出身は? etc)

まず、私について興味を持っていただきありがとうございます。千葉県佐倉市出身。まもなく2児の母になります。

好きな食べ物は、焼き菓子・白米・フレッシュネスバーガーです。AMラジオ(特にニッポン放送とTBSラジオ)が好きで、日中お休みの日はずっとradikoで聴いています。そして、なぜモデルになったのか?という、学生の頃から、TBS「世界ふしぎ発見!」のミステリーハンターになりたいなど、ぼんやり思っていたのですが、大学、社会人と紆余曲折ののち…人生1度きりだし本気出してみよう!と、**26歳頃に芸能活動を**

を始めました。番組も終わってしまい、出演の夢は叶わなかったのですが、お陰様で違う番組で、トルコやタヒチに行けたり、国内でも色々な経験をさせていただいたり、毎年福島県にも行けたり、ありがたい日々を送らせていただいています。また、モデルさんは私じゃなくても代わりの人は沢山いますが、一度決まった仕事やスケジュールは、絶対に代わりがいません。そこに向けて沢山の人が関わっています。ですので、仕事と日常を両立する上で大切にしている事は、身近な健康管理です。

具体的には「日々大怪我に繋がるような危険なことはしない」「数日前から暴飲暴食をしない」「毎年インフルエンザの予防接種は受ける」…あれ?当たり前のことすぎて、特別なこと何もしてないじゃん?てバレましたかね笑

皆さんが想像するような、モデルさんといえば、ピラティスして、スムージー飲んで、サラダを食べて、エステ行って…なことは一切していません。太陽沢山浴びて、自然体を大切に生きています。



Q6 初年度のイメージアップ動画から娘さんにも出演してもらっています。家族の出演について、今あらためて振り返って感じる事があれば教えてください。

4年間も家族で起用していただき、本当に本当にありがとうございます。

1歳から4歳の一番成長がわかる期間に起用していただき、娘の成長記録になっていて、見ている皆さんにも楽しんでいただけると嬉しいです。

娘は特に子役として訓練しているわけではないのですが、毎年撮影を楽しんで挑んでいて、協会さん、スタッフさん達から感じる、明るく楽しい空気感を感じ取っているのがわかります。今年の撮影も本当に楽しみにしています。

Q7 最後に、福島県トラック協会の会員事業者・ドライバーの皆さんへ、福島への想いもこめてメッセージをお願いします。

改めてになりますが、こんな私に本当に興味を持っていただき、貴重なページを使わせていただき、本当にありがとうございます。ここを読んでいるということは、皆様も最後まで読んでくれると言うことですね。お時間もいただき、本当に本当にありがとうございます!!

私達が今当たり前の生活を送れているのは、トラックドライバーさん、事業者のみなさん、協会さんのおかげです。

これからも引き続き、短距離でも長距離でも、安全運転で、無理をなさらず、どうかお願いいたします。最後までお付き合いいただき、心から感謝しています。ありがとうございました!

\\ CHECK!! //



YouTube
#女子トラ走る



わたひきあやこさん
Instagram



Thank you very much.



届ける想いを、
未来へつなぐ。

こどもがまだ小さいから、
一緒に時間も大切にしたい。

運転が好きな人には、
ぴったりの仕事だと思います。

お客様と仲良くなって、
お話するのも楽しいです。

好きな道を、
好きな仕事と走る。

プライベート、仕事、
私らしくかなえる。



女子トラ 活躍中!



本協会が1月に公開した動画「女子トラ活躍中!女子トラ会」が好評をいただいています。福島県でドライバーなどで活躍する女性3名が出演し、明るく柔らかな雰囲気の中で、現場でのリアルな声が伝わる内容となっています。動画は前後編それぞれ約5分で、「ユーチューブ」にて公開中です。ポスターには動画へのリンクを掲載し、県内の一部の自動車学校にも掲示されています。そこからのアクセスも多く、多くの方に興味を持っていただいているようです。

「女子トラ走る」はスタートから3年を迎え、今後も同じテーマのもと、業界の魅力や多様な働き方を発信し続けていきます。



#女子トラ走る

オフィシャルYouTube公開中



笑顔も、
希望も、
やりがいも積んで。



福島県トラック協会
FUKUSHIMA TRUCKING ASSOCIATION

福島県トラック協会 会員の皆様へ

トラック運送事業者様の共済 東北交通共済 をよろしくお願いたします

ご連絡いただければ職員がお伺いしてご説明申し上げます。
保険設計、何でもご相談を無料で承ります。

東北交通共済は非営利組織として運送事業者に特化した自動車共済(保険)、自賠責共済(保険)、各種損保商品の販売及びトラックの事故防止事業を運営しております。

トラック協会と共に歩む全国トラック交通共済連合会加盟の東北交通共済にお気軽にご相談ください。

Face to Face! お会いしないとトラック共済の良さはお伝えできません。

悩む前にまずお電話を!!

トラック共済の特徴

- ① トラック共済独自の掛金率。
- ② 多数割引は最大で10%、優良割引は最大で70%、業界トップクラスです。
- ③ 契約後の異動・減車・解約処理はすべて日割りで計算します。短期率の処理は行っておりません。
- ④ 優良割引率は損害率による算定方式を採用。共済金支払いによる優良割引率ダウンは1年度に15%~20%を限度、また大口共済金支払い案件については2年度までの反映としており、過去の事故を長く引きずりません。
- ⑤ 車両共済は、掛金の割増なしで価格協定としており1年間で共済価格は減価しません。
- ⑥ 事故処理も契約者毎の担当者制を採用、事故担当者の顔が見える円滑な事故処理が可能です。
- ⑦ 車両の入替えに車種による制限はございません。
- ⑧ 決算剰余金が出た場合、利用分量配当金ができます。(過去最高33%)
- ⑨ 不測の事態に備え、対人・対物の再共済制度に加入しております。
- ⑩ 4メガ損保の代理店業務も行っております。損保商品(貨物補償制度・業務災害補償制度など)を取り扱っております。

福島支部 担当 下田・高屋敷
福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-555-0107
FAX 024-555-0108

郡山支部 担当 山崎・佐々木
郡山市喜久田町卸3丁目7-2
TEL 024-953-3420
FAX 024-953-3421

又は
福島県トラック協会
田母神専務理事(東北交通共済理事)まで



陸災防 NEWS 今月のお知らせ

第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」集合研修会を開催

開催日 令和8年1月21日(水)

場所 福島市 福島県トラック協会大研修室

参加者 会員の5事業場7名

陸災防福島県支部は、第2回「安全衛生レベルアップ支援事業」集合研修会を開催した。研修会では、各事業場から提出されたチェックシートを基に取り組んできた仕組み作りの中間評価を行った後、陸災防本部の今井安全管理士を講師として、労働災害防止のための手法である「リスクアセスメント」の具体的な取り組み方法について学んだ。

今回の研修会では、各事業場の参加者が与えられた演習での設問に関して熱心な討議と発表を行い、職場においてのリスクアセスメントの取り組みが如何に重要かを認識し、更なる安全に関するレベルアップを誓いあった。



「荷役作業安全ガイドライン説明会」を開催

開催日 令和8年1月29日(木)

場所 郡山市 福島県トラック協会県中研修センター

参加者 29事業者40名 ※陸運事業者、荷主事業者の双方を対象

陸災防福島県支部は、「荷役作業安全ガイドライン説明会」を開催した。陸上貨物運送事業の労働災害の約7割がトラックの荷台等からの墜落・転落等の荷役作業中に発生しており、そのうちの約7割が荷主等（荷主、配送先、元請事業者等）の事業場で発生している。厚生労働省では平成25年3月に「陸上貨物運送事業における荷役作業の安全対策ガイドライン」を策定し陸運事業者及び荷主等それぞれの実施事項が示された。今回の説明会は陸運事業者、荷主事業者の双方を対象に29事業者40名が参加した。福島労働局の齋藤課長の講話に続き、陸災防本部の今井安全管理士を講師として説明を行い、本ガイドラインの令和5年3月の改正時に追加されたテールゲートリフターやロールボックスパレットも含めて学んだ。



令和7年度「物流セミナー」を開催

開催日 令和8年1月29日(木) 場所 郡山市ビッグパレットふくしま

参加者数 246名(荷主企業51名 事業者170名、その他(来賓、事務局等25名))

講演1 演題 「トラック適正化二法と取適法の動向」

講師 (公社)全日本トラック協会 企画部 部長金子 貴史氏

講演2 演題 「人が辞めない・事故が起きない現場づくりは点呼がすべて！」

講師 (株)ディ・クリエイト 組織活性化コンサルタント 前川 由希子氏



金子 貴史氏



前川 由希子氏

本協会は、荷主企業と運送事業者で認識を共有し、パートナーシップを構築することを目的に、福島県トラック協会会員事業者と荷主企業が参加し、物流セミナーを開催した。

講演1では金子氏が、本年1月施行の中小受託取引適正化法(取適法)、さらに本年4月から内容により順次施行されるトラック適正化二法など、物流業界を取り巻く法改正が相次いで進められていることを説明した。

講演2は、コミュニケーションや観察力等の重要性について、前川氏の質問に対して参加者が考え回答する参加型の形式で実施され、大変盛り上がった。

また、PR事業のキャンペーンの一環として今年度作成した協会オリジナルスペシャルティコーヒーを提供し、会場はコーヒーの香りに包まれた。



編集後記

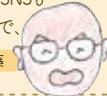
本年度をもって「わだち」の紙での発行を終了する予定でしたが、さまざまな思いもあり、引き続き紙での発行を継続することとなりました。そしてこの3月で、3人の子どもの送迎で11年通い続けた保育園を卒園します。振り返れば、保育園は私にとって、人生の中でトラック協会の次に長く通った場所となりました。長いようであっという間の年月でした。環境は少しずつ変わっていきますが、「わだち」はこれからも続けてまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

菅野



実は今回の「わだち」号で、【紙】発行での広報誌はひと区切り…の予定でした。時代はWebへ、という流れのなかで、紙の役目もここまでか少ししんみり。けれど「やっぱり紙がいい」「楽しみにしているよ」という声に背中を押され、来年度以降も継続することに。締切はなぜかイベントと重なりがちで毎号なかなかの熱量ですが、ページをめくるあの感覚はやはり特別です。来年度は対談企画や音楽企画など、新しい挑戦も考えています。主役は会員の皆さま。皆さまとともに、この「わだち」を刻み続けます。トラック協会のSNSもこっそり(いえ、しっかり)更新していますので、たまにのぞいてみてくださいね^^

佐藤



この春で職場復帰からちょうど2年を迎えました。3歳の息子は毎日が小さなドラマの連続です。お着替えの途中で急に走り出したり、何でも一人で頑張ったり。以前は抱っこばかりだったのに、今は自分の世界を持ち、思いを言葉に出来るようになってきました。成長の喜びと少し寂しさを感じつつ、日々バタバタしながらも職場の皆さんや家族に支えられて過ごせることに心から感謝しています。取材を通じ、運送業界には本当に温かい人が多いと実感します。仕事の話だけでなく、雑談や私的な相談まで気軽に受け止めてくれる方ばかりで、つい私も笑顔になってしまいます。これからも「わだち」を通じて、業界の魅力を多くの方へ届けていけたらうれしいです。

矢吹



トラック広報 わだち 521号

2026年3月発行(年3回)

編集発行

公益社団法人 福島県トラック協会
〒960-0231 福島市飯坂町平野字若狭小屋32
TEL 024-558-7755(代) FAX 024-558-7731
HP <http://fukutora.lat37n.com/>

